



伊勢化学工業株式会社

2026年12月期 第2四半期決算補足説明資料

2026年7月30日

本資料のポイント

- 上半期業績は、一部販売数量減少や費用増加により前年同期比減収減益
- ヨウ素、金属化合物ともに需要は堅調。通期業績予想は変更なく、下半期も事業環境を注視しながら計画達成を目指す
- 創立100周年を迎える2027年に向け、「ありたい姿」の実現に向けた取り組みを推進
- Select社との取り組みは、北米における成長基盤構築に向けた重要施策として推進

2026年第2四半期決算ハイライト

事業環境は概ね良好に推移するも、一部販売数量減少および費用増加により減収減益。

	2025年	2026年	
(金額単位：百万円)	1-6月	1-6月	増減
売上高	19,282	19,237	▲ 44
ヨウ素及び天然ガス事業	16,877	16,737	▲ 139
金属化合物事業	2,404	2,499	94
売上総利益	6,297	5,971	▲ 325
営業利益	4,832	4,136	▲ 695
ヨウ素及び天然ガス事業	4,802	4,175	▲ 627
金属化合物事業	30	▲ 38	▲ 68
経常利益	4,722	4,050	▲ 671
税前利益	4,676	4,022	▲ 654
中間純利益	3,317	2,823	▲ 493
営業利益率	25.1%	21.5%	▲ 3.6
減価償却費	979	1,222	242
EBITDA	5,812	5,359	▲ 453
ヨウ素生産量(MT)	2,122	1,872	▲ 249
日本	1,952	1,731	▲ 222
米国	169	142	▲ 27

ヨウ素及び天然ガス事業

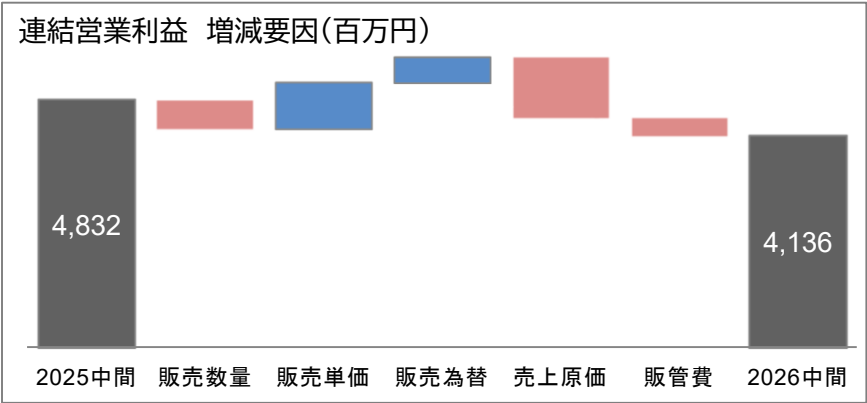
ヨウ素市況は引き続き堅調に推移したものの、一部のお客様向け販売数量減少および減価償却費等の費用増加の影響により減収減益。

金属化合物事業

塩化ニッケル販売は堅調に推移した一方、金属相場上昇による原料価格上昇の影響を受け営業損失を計上。

通期業績予想

各事業とも需要は堅調。足元の事業環境を踏まえ、2026年通期業績予想は据え置き。



「ありたい姿」の実現に向けて

2027年創立100周年を迎えるにあたり、次の100年を見据えた「ありたい姿」を策定。
「ありたい姿」の実現に向けて長期的な戦略を定め、これに基づく事業運営を行い着実かつ長期的な成長を目指す。

「ありたい姿」

かがくでつなぐ、地球の資源。

1. 持続可能な開発

100年先も、世の中にヨウ素を供給しつづけます

2. 技術フロンティアへの挑戦

ヨウ素技術のパイオニアでありつづけます

3. 安全と信頼

やりがいを持って安全に働ける職場をつくります

すべての人から信頼され、「あって良かった」と言われる企業を目指します



「ありたい姿」の実現に向けて

1. ヨウ素資源開発

- ヨウ素資源開発へ経営資源を集中
 - ✓ 新規坑井開発の継続
 - ✓ 国内外の新規ヨウ素資源開発に積極関与

2. ヨウ素技術のパイオニア

- ヨウ素製造・リサイクルのイノベーション

3. ヨウ素関連 新事業

- 産学連携や外部研究機関・企業と積極的に提携

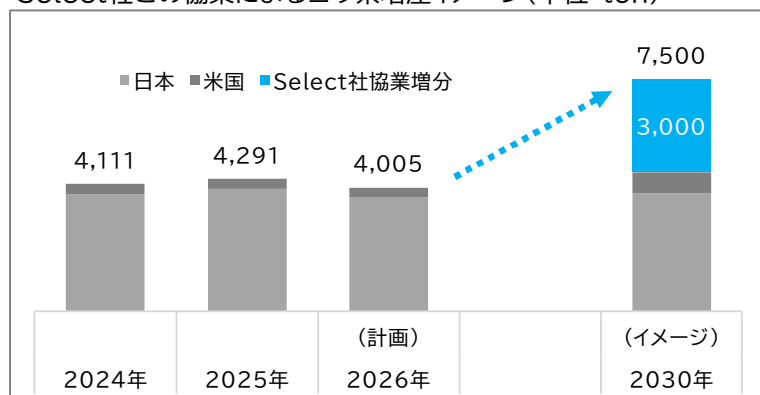
4. 経営基盤の充実

- サステナビリティを意識した事業運営
- 「人的資本経営」の推進
- 安全・安定操業の深化

北米におけるSelect社との戦略的パートナーシップ

Select Water Solutions, Inc.(Select社)が保有・管理する油田かん水を新たなヨウ素供給源として活用し、北米でのヨウ素生産能力拡大を目指す。

Select社との協業によるヨウ素増産イメージ(単位:ton)



2026年6月 Select社との契約締結

- ✓ Select社が保有する油田かん水からヨウ素を抽出し商業化する権利を当社が取得
- ✓ 契約期間: 10年間(20年間までの延長オプション)
- ✓ 設備投資: 全額当社負担
- ✓ 目標生産量: 3,000MT/年(2030年)

2026年7月 テキサス州での第1サテライトプラント建設を決定。2027年中の稼働目標
今後、順次米国各地での生産拠点拡大を推進

Select社について

米国の石油・天然ガス生産者向けに、石油・天然ガス生産時に随伴する油田かん水(Produced Water)の収集・輸送・リサイクル及び地下圧入サービスの提供を主要な事業とする米国有数の油田かん水マネジメント企業。広範な配管ネットワークと水処理インフラを保有する。

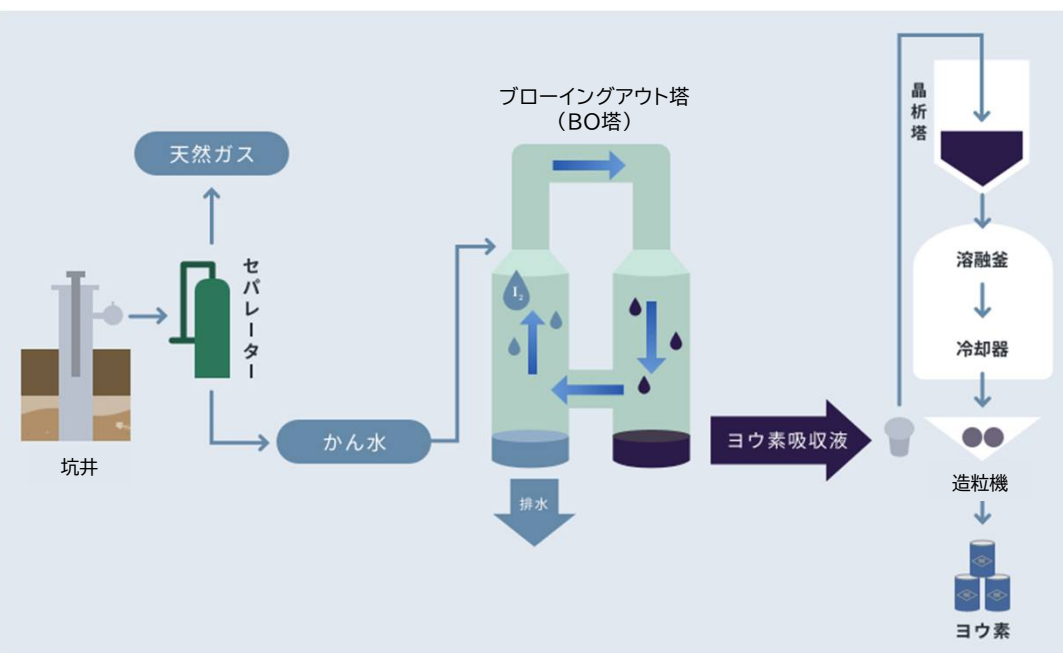


Select社がテキサス州、ニューメキシコ州で油田かん水を集積する水リサイクル施設の一部
(出典:Select社Webサイト <https://www.selectwater.com>)

油田かん水を活用した新たなヨウ素生産モデル

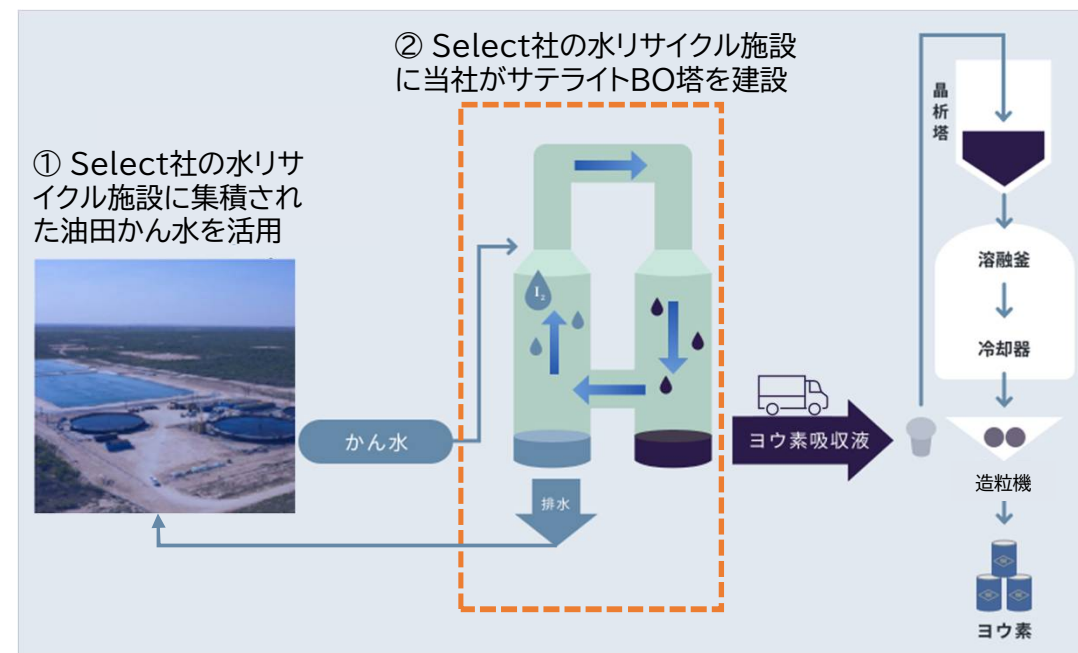
従来の製造フロー

- ① 坑井を開発し、かん水と天然ガスを生産
- ② かん水をブローイングアウト塔(BO塔)で濃縮し、ヨウ素吸収液を生産
- ③ 後工程で固体のヨウ素製品を生産



Select社との協業

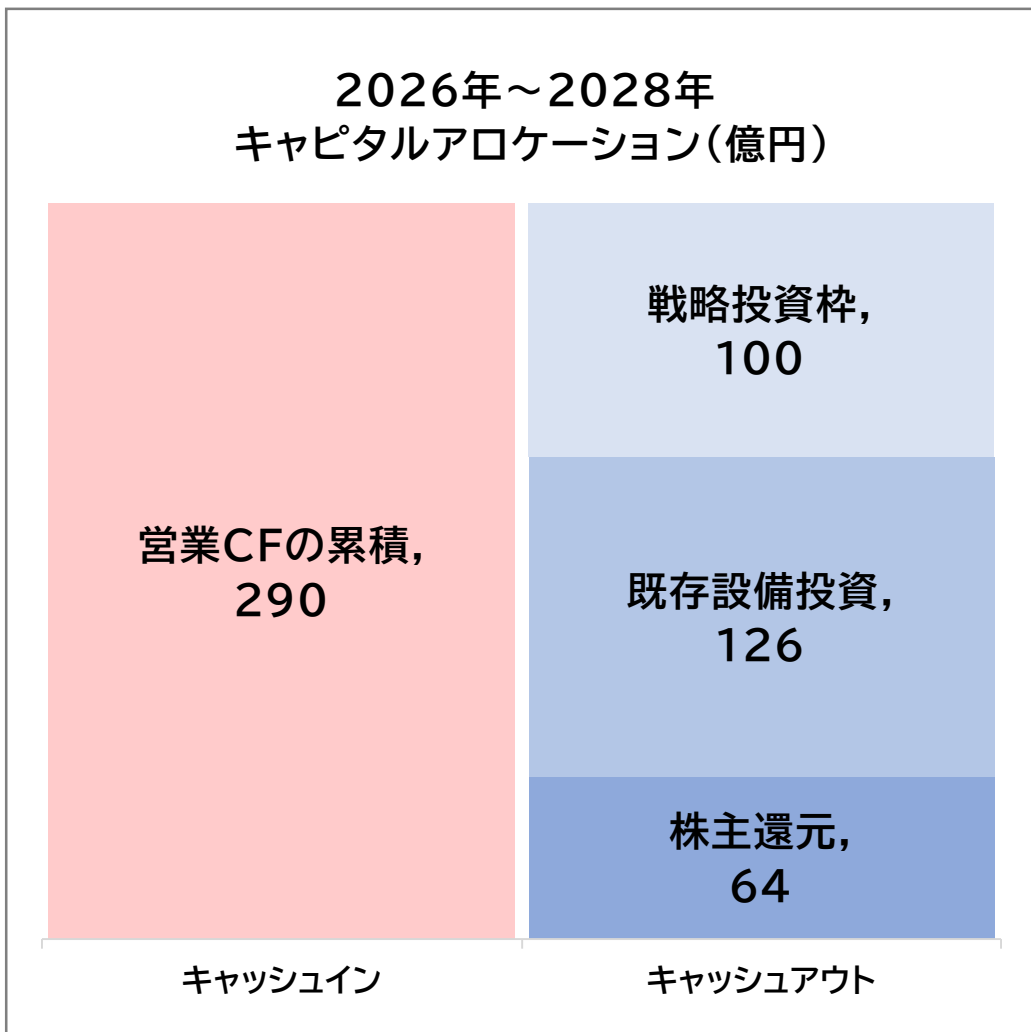
- ① Select社が水リサイクル施設に集積した油田かん水を活用
- ② Select社の水リサイクル施設に当社がサテライトBO塔を建設し、ヨウ素吸収液を生産。後工程工場へ輸送
- ③ 後工程で固体のヨウ素製品を生産



油田かん水を新たなヨウ素資源として活用し、かん水調達(坑井開発)に要する期間の短縮と開発リスクの低減を図る。

参考:資金政策

2026年～2028年 キャピタルアロケーション(億円)



• 設備投資、戦略投資

引き続き積極的な設備投資を行う。

2026年～2028年の3年間で100億円超の既存設備投資に加え、「ありたい姿」実現のため、100億円の戦略投資枠を設ける。

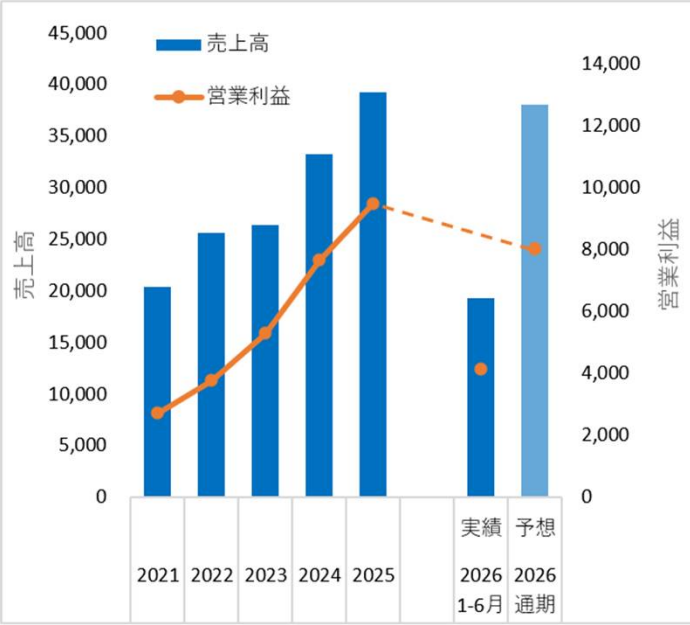
- ✓ 米国でのヨウ素増産プロジェクト含む新規ヨウ素資源開発、ヨウ素製造能力増強
- ✓ 災害リスク対策
- ✓ ヨウ素関連 新事業展開

• 株主還元

安定配当を基本とし、業績・資金需要等を総合的に勘案し還元を行う。

参考:主要経営指標

	2021	2022	2023	2024	2025	(金額:百万円)	
						2026 1-6月 実績	2026 通期 2/5発表予想
売上高	20,354	25,564	26,413	33,287	39,258	19,237	38,000
営業利益	2,709	3,756	5,296	7,659	9,484	4,136	8,000
当期純利益	1,773	2,562	3,672	5,071	6,498	2,823	5,400
設備投資額	3,230	2,048	2,031	2,855	3,329		4,000
減価償却費	1,489	1,812	1,970	1,975	2,046	1,222	2,600
EBITDA	4,198	5,568	7,267	9,634	11,531	5,359	10,600
営業利益率	13.3%	14.7%	20.1%	23.0%	24.2%	21.5%	21.1%
総資産	33,415	36,146	40,082	45,251	51,015	51,622	
自己資本比率	81.2%	80.8%	79.6%	78.6%	78.5%	81.2%	
ROE	6.7%	9.1%	12.0%	15.0%	17.2%		12.9%
JPY/USD	109.9	131.6	140.7	151.7	149.6	158.3	150.0



財務目標	
EBITDA	110億円以上
ROE	中期目標として安定的に10%以上

個人投資家向け企業IRセミナー開催のご案内

今年も個人投資家向け企業IRセミナーの開催を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

■日時：2026年8月6日(木) 20:00～21:00

■内容：事業概要、業績及び経営目標等の説明並びに質疑応答

■講演者：代表取締役兼社長執行役員 粕谷 俊郎

参加URL：<https://go.jikiden.tv/sid=T3CRCY8hTa>

■YouTube「三菱UFJ eスマート証券 オンデマンド」にてオンデマンド配信を予定

オンデマンド配信URL：<https://www.youtube.com/@aukabucom-ondemand>

かがくでつなぐ、地球の資源。



予測に関するご注意事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により変動する可能性があります。